

6万アカウント達成！キャッシュレス決済でコロナ禍の事業者支援！ (神奈川県平塚市)

取組概要

コロナ禍で急激に落ち込んだ地域の消費を活性化

- 2020年度、感染症対策と消費活動の両立を図るため、スマホアプリを使った**独自のキャッシュレス決済のみ**でプレミアム商品券事業を実施（加盟店1,101件、販売店251件）
- 当初発行額（約8億6千万円）完売後、追加（6億5千万円）販売も2時間以内で完売。
- 2021年度、同アプリに、**電子マネー**類似機能、**ふるさと納税の返礼**ポイント機能を追加（下図参照）2022年度、市制90周年、第70回湘南ひらつか七夕まつりに合わせ、アプリをアップデート



スターライトポイント	プレミアム	プレミアム率20% 電子商品券
	買える人	平塚市民
	購入方法	アプリから申込→販売店で現金でチャージ
	使えるお店	市内1,000店舗超
スターライトマネー	プレミアム	なし チャージ金額を電子マネーのように使用可能
	買える人	居住地問わず
	購入方法	販売店で現金でのチャージ 行政への協力等で市から直接付与される場合あり
	使えるお店	スターライトポイントと同じ
スターライトマール	ふるさと納税	市外の方からの平塚市への1万円以上のふるさと納税に、 寄附金額の30%のポイントをお礼の品として用意
	もらえる人	平塚市外在住の寄附者
	使えるお店	市内170店舗超（飲食店中心（地場産基準））

チャージキャンペーン【第2弾】10/31（月）正午から 先着3,500名

人口257,631人 (R4.1.1現在)
担当 産業振興部 産業振興課

取組の効果

業務の効率化、多様な事業者の参加、データ

- 紙の商品券ではできない在庫管理、事務量・店舗負担の削減
- ローカルメディア、金融機関、習い事（音楽、テニス、水泳など）、電気工事等、多様な事業者の参加
- アクティブユーザー購買データから様々な傾向を発見
- マイナンバーカード取得のインセンティブとして機能

創意・工夫した点

事業者の工夫を支援！（2021年度例）

- 電子商品券の販売を登録販売店に任せ、売り上げの**5%を販売店にキャッシュバック**
- 販売店はキャッシュバックを原資に、店独自のクーポン等を発行し集客
- ポイント**（市民限定）、**マネー**（居住地問わず）、**マール**（市外在住者限定）とし、域外資金も獲得

他団体へのアドバイス

デジタル化の入口

- 本事業を通じて、高齢者がスマートフォンを持つようになった事例が多数ある。
- 本事業を契機として、他のキャッシュレス決済サービスも導入した店舗の事例がある。